

共済と保険

五三年七月号 目次

卷頭言・保険行政一元化論議の再燃 (八)

交叉点

必要悪時代の共済・保険 前田 関男

災害のたびに考えさせられる

政治と助け合い 寺本由一 (一〇)

偶感 堀 雄一

畑作物共済及び園芸施設共済の本格実施

鷺田俊顯 (一七)

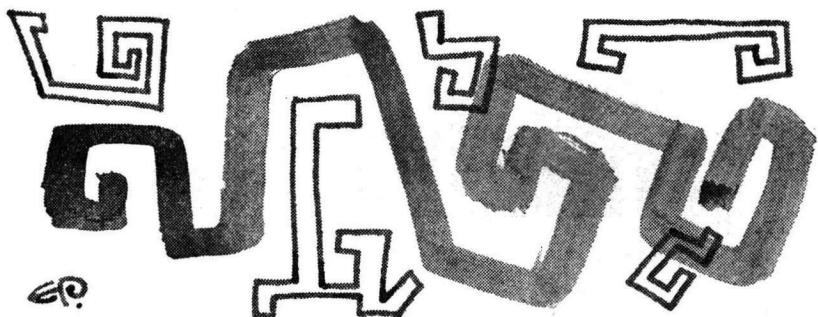
生保五一年度決算の大要

(三二)

時言月評 損保の経営難と再編成、消費者保護と共に規制ほか (四三)

健康年金とその周辺 荒井秀雄 (一五)

書評・庭田「社会保障の基礎理論」 石田重森 (五七)



別府リハビリセンター見学記……庭田範秋（三九）

新聞論調・医薬分業の本旨を考えよう、宮城県沖地震に思う……（六四）

△情報資料▽共済問題 大蔵・損保業界の見解……………（五四）

毎月一題・自分の創る老人福祉……………山内保……（六八）

本会の第一八回通常総会……………（七一）

本・日本の保険業を考える……………（六二）

グラフ・生保の配当金は五年間で三倍に……………（六三）

ことば・地震防災強化地域……………（七）

農協共済・宮城県沖地震で二十五億円

漁協共済・五二年度実績／水共法共済の予定新種共済

都市職員・五二年度実績と規約改正

食品共済・火災共済一〇万口突破／食賠の五二年度

森林組合・組合法成立祝賀会

自賠責等・限度額二千万に引上げ／交通事故処理状況

保険界・損保五二年度の元受状況／生保の公共投資五三〇〇

億円／募集文書の基準改正／協栄、朝日が新種発売

展望

（七五）

編集後記

（八一）